

三保地区

三保地区別計画推進策定委員会

地域 三保町

緑区の中央に位置し、南側は旭区に隣接しています。北側約半分には、いくつかの集合住宅と既存の住宅など、住宅地が広がっています。南側には「三保市民の森」など広大な緑地が残されていますが、ここ数年間で開発が進み、住宅が増えています。

また、特別養護老人ホームなどの高齢者施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

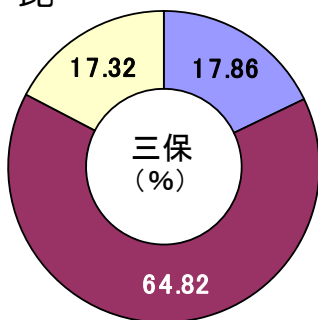
震災時避難場所（地域防災拠点）：三保小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

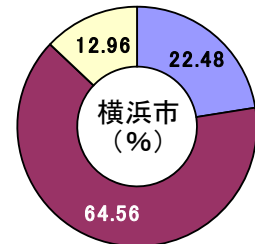
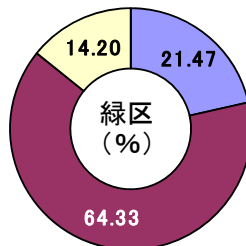
<年齢区分別人口>

平成26年(2014年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

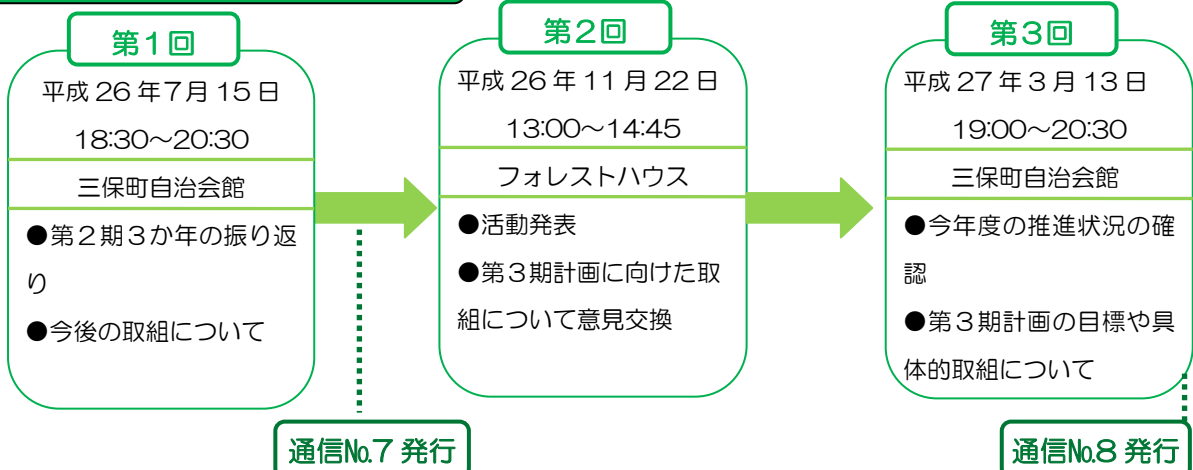


75歳~	1,107人
65~74歳	1,551人
15~64歳	9,646人
6~14歳	1,628人
0~5歳	950人
合計	14,882人

75歳~	16,899人
65~74歳	21,462人
15~64歳	114,942人
6~14歳	15,723人
0~5歳	9,654人
合計	178,680人

75歳~	381,069人
65~74歳	455,152人
15~64歳	2,401,961人
6~14歳	293,856人
0~5歳	188,228人
合計	3,720,266人

地区別計画推進策定委員会の開催



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成26年度地区別計画推進状況



三保地区

「つながり」を深め
より暮らしやすい**三保**を目指して!

平成26年度の主な取り組み

平成25年度に作成・配布した「三保地区防災マップ」の活用策などを踏まえ、災害時に備えて、連合自治会を中心に地域防災の推進に向けた検討を進めています。

まずは、災害時に地域防災拠点と各自治会が連携できるよう、連合自治会と各自治会との役割分担を整理しながら、地域防災拠点の「防災規約」などの検討を進め、今年度中に完成する予定です。



(画像：三保地区 防災マップ)



(写真：「三保小学校地域防災拠点訓練」の様子)



(写真：「第2回地区別計画推進策定委員会」の様子)

次期計画の策定に取り組んでいます!

平成28年度から始まる「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画の地区別計画策定に向けて、地区別計画推進策定委員会では、意見交換やアイデア出しを行ない、地域の課題解決を目指した次期計画の素案作成に取り組んでいます。

三保地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委員・児童委員 ●保健活動推進員
- 老人クラブ連合会 ●スポーツ推進委員 ●青少年指導員 ●消費生活推進員 ●防犯指導員
- 少年補導員 ●連合子ども会 ●ボランティアみほ ●隣友会 ●三保おやじ団
- 友愛活動推進委員 ●三保小学校 ●三保小学校PTA ※順不同



防災に関する取組も含め、これまでの取組を継続して着実に進め、
多世代の方々が『つながり』を深め、より暮らしやすい三保を目指します!

三保地区別計画推進策定委員会



三保地区別計画推進策定委員会
平成26年9月発行 No.7



三保地区別計画推進策定委員会通信

平成26年7月15日(火) 三保町自治会館で、「平成26年度 第1回 三保地区別計画推進策定委員会」を開催しました。委員会では、これまでの3か年の取組報告が行われ、さらに昨年度作成・配布した「三保地区 地域活動マップ/防災マップ」の活用策など、今後に向けた意見交換等が活発に行われました。

(委員会の内容は、裏面をご覧ください！)

第3期計画の策定に取り組むため、今年度から「推進策定委員会」に名称が変わりました！

湯澤委員長



▲委員会の様子

みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画とは？

わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。三保地区では、3つの目標を定め、平成23年度から推進に取り組んでいます。

三保地区別計画3つの目標

- ◆地域でのつながりを大切にしたい！
- ◆落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい！
- ◆イベント情報等を地域で共有したい！

三保地区 3か年のあゆみ

これまでの取組をちょっとだけ振り返ります。

平成23年度

《地域をつなぐを大切にしたい》

世代間を超えた取り組み ～地域の活動紹介～

◆ウォークラリー & こどもフェスタ

青少年指導員と連合子ども会が協力して、子どもたちが喜ぶにぎやかなお祭りに！



◆ふれあい給食

老人会、民生委員が三保小学校で給食を楽しみました。子どもと高齢者がふれあう良い交流の場に。

《地域情報の共有を目指して》

◆地域活動状況の集約・整理、活用の検討
「活動拠点」をテーマに、地域の活動状況を地図を用いて話し合い、集約・整理しました。また、この情報の活用を検討しました。



平成24年度

平成25年度

《3か年の集大成》『地域活動マップ』『防災マップ』の完成!!

地域情報の共有を目指し、「地域活動マップ」を作成するためのプロジェクトを立ち上げました。その中で、防災の重要性も話し合われ、「地域活動マップ」と「防災マップ」を両面で作成しました。

このマップは、「地区別計画推進委員会通信」と共に各戸配布し、「ささえ愛プラン」のPRも併せて行いました。



【平成26年度第1回 三保地区別計画推進策定委員会の様子】

当日は、地域の防災担当の方も含め、37名の方が参加されました。今年度初めての委員会でしたので、まず、自己紹介を行い、その後、事務局から「みどりのわ・ささえ愛プランの概要」、「三保地区のこれまでの取組」について説明を行いました。

そして、「三保地区 地域活動マップ/防災マップ」の活用方法や、「防災マップが配られて安心した。」との住民の紹介が紹介され、これを機会に「地域の防災についてさらに検討を進める必要がある」など、さまざまな意見が出されました！



▲委員会での意見交換の様子

委員の皆さんからの主な意見など

- 「三保地区 地域活動マップ/防災マップ」を配布したら、受け取って安心した。いっとき避難場所を確認する住民もいました。
- 防災マップづくりの過程はよかった。防災マップづくりは災害時の対策のスタートライン、今後どのようにつなげていくかを考えることが必要です。
- いっとき避難場所と地域防災拠点との連絡用に無線機を、連合町内会で購入した。防災訓練にも活用していきたい。
- これから防災関係の規約づくりの検討を行ったら、どうでしょう。
- 各自治会と地域防災拠点の役割を検討すべきである。まず、自治会長会で検討して欲しい。
- 要援護者への把握や対応も必要です。



岩澤連合自治会長

委員の皆さんの意見を踏まえ、



災害時に地域防災拠点と各自治会が連携できるよう、連合自治会と各自治会との役割分担を整理しながら、まずは、地域防災拠点（三保地区連合自治会）の防災規約などの検討を行っていく予定です！



三保地区別計画推進策定委員会って何？

「みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画」（平成23年度～平成27年度）の推進及び次期計画策定に向け、具体的な取組の検討、情報共有、意見交換等を行っています。下記の団体の代表者により構成しています。

連合自治会、自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、消費生活推進員、青少年指導員、友愛活動員、少年補導員、防犯指導員、老人クラブ連合会、三保おやし団、ボランティアみほ、隣友会、三保小学校PTA、三保小学校（順序不同）



今年度は、委員会を3回開催する予定です。次期計画策定も視野に入れ、地域の課題解決に向けて、今後も検討を進めていきましょう！

次回の委員会は、次期計画の検討に向けた意見交換などを予定しています。(11/14(金)開催予定)

<連絡先>

三保地区 地区別計画推進策定委員会事務局
TEL：930-2364（緑区生活衛生課）、
TEL：930-2334（緑区保護課）



三保地区別計画推進策定委員会
平成27年3月発行 No.8

三保地区別計画推進策定委員会通信

次期計画の策定に取り組んでいます！

平成26年11月22日(土)に第2回、平成27年3月13日(金)に第3回の「平成26年度 三保地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

委員会では、これまでの取組を踏まえ、平成28年度からスタートする緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期の「三保地区 地区別計画」の検討を行いました。

この通信では、検討された内容と委員会の様子をご紹介します。

また、裏面では、平成27年2月20日(金)に開催された「第33回 緑区社会福祉大会」の第2部で行った三保地区の活動報告の様子を振り返ります。

2回の委員会をダイジェストで振り返ります。

第2回委員会

会場：フォレストハウス

当日は、事務局から「区民アンケート〈三保地区速報〉」の報告があり、続いて、中山地域ケアプラザの「出張相談」状況、三保おやじ団の活動紹介、子育て支援の取組状況がそれぞれ報告されました。

続いて、第3期計画策定に向けて参加メンバーが5つに分かれ、地区目標の検討するためのグループ討議を行いました。その後の各グループからの発表では、地区の課題やこれまでの取組をさらに充実させていくための取組等、様々な提案がありました。



会場：三保町自治会館

第3回委員会



委員会では、「第2回委員会」で各委員から提案いただいた内容を、「地区別計画素案たたき台(案)」として、事務局でまとめた資料をもと意見交換を行いました。

三保地区別計画推進策定委員会って何？

「みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画」(平成23年度～平成27年度)の推進及び次期計画策定に向け、具体的な取組の検討、情報共有、意見交換等を行っています。下記の団体の代表者により構成しています。

- 連合自治会、自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、消費生活推進員、青少年指導員、友愛活動員、少年補導員、防犯指導員、老人クラブ連合会、三保おやじ団、ボランティアみほ、隣友会、三保小学校PTA、三保小学校 (順序不同)

第33回 社会福祉大会 (第2部) 活動報告

会場:みどりアートパーク

平成27年2月20日(金)、「第33回緑区社会福祉大会」が緑区民文化センター(みどりアートパーク)で開催されました。

この大会の第2部では、「身近な地域でつながり・ささえあいをつくるために」と題し、みどりのわ・ささえ愛プラン地区別計画の推進活動報告が行われ、湯澤委員長(地区社会福祉協議会会長)、岩澤委員(三保地区連合自治会長)、西原委員(地区社会福祉協議会事務局長)の3名が三保地区の取組を発表しました!



<発表者の様子>

この通信では、発表内容の一部をご紹介します!

<発表スライドから>



<壇上では、拡大したマップも紹介>

今後に向けて、三保地区では、これまでの取組を継続して着実に進めるとともに、多世代の方々が「つながり」を深め、より暮らしやすい街“三保”を目標に取組を進めていきます。

<当日の壇上の様子>



発表後には、コーディネーターを務めた村井氏(田園調布学園大学人間福祉学部教授)の総評があり、会場からの大きな拍手が送られました!

みどりのわ・ささえ愛プラン三保地区別計画とは?

わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるように福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。三保地区では、3つの目標を定め、平成23年度から推進に取り組んでいます。

三保地区別計画3つの目標

- ◆地域でのつながりを大切にしたい!
- ◆落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい!
- ◆イベント情報等を地域で共有したい!



次年度は、いよいよ次期計画を策定します!
地域の課題解決に向けて、これからも力を合わせ、取組を進めましょう!

<連絡先>

三保地区 地区別計画推進策定委員会事務局
TEL: 930-2364 (緑区生活衛生課)、
TEL: 930-2334 (緑区保護課)